

代表質問

本市での災害対応に、被災地での活動経験の反映を



自由民主党議員団
中原 誠悟 議員

替える場所については、市民の利用しやすさ、敷地状況、立地の特性や整備期間中における業務の継続性などの視点も必要であること

から、慎重に検討したい。

中国大同市との交流の意義

問 市長の中国大同市訪問の目的と成果は。

答 これまで、相互訪問などの友好親善をはじめ、環境技術や環境教育、都市緑化といった分野での国際協力に取り組む、友好的な関係を築いてきた。今回新たに、医療・介護分野での交流を盛り込んだ協議記録書への調印を行うなど、発展的な継続を確認できた。

問 成果が市民に浸透していない課題もあるが、今後は。

答 大同市からの代表団訪問や技術交流の研修受け入れ時には、学校訪問など市民との交流機会づくりにも努めたい。

大牟田市庁舎整備

問 建て替えの場合、庁舎の建設場所を検討する際の基本的な考え方や視点は。

答 庁舎整備検討委員会において、機能や整備手法と合わせ協議中だが、建て替えを伴う整備を行う場合、耐用年数が経過するまで、場所の変更ができないことに加え、建て

災害に強いまちづくり

問 被災地に派遣された職員の方々が学んだことは。

答 被災地の状況を目の当たりにし、被災者の立場に寄り添った対応の大切さなどを学ぶとともに、被災現場における経験の組織での共有、マニュアル作成や見直しに生かし、災害対応業務の改善にフィードバックすることで、今後の災害対応力の強化につながるものとする。

問 消防本部から派遣された職員が災害現場での活動を通じて感じたことは。

答 複数の機関が活動し、初対面の指揮者がそれぞれの隊の規模や装備が違う中で、同時に活動する連携の難しさを経験した。

また、被災地からの帰任後は、報告会や検討会を通じ、情報共有や課題の洗い出しを行い、改善を図っており、本市で災害が発生した場合にも、多くの機関からの応援を円滑に受け入れできるよう、受援計画等にも反映させている。

重要港湾三池港

問 現時点における三池港の整備状況は。

答 国の直轄事業については、平成23年度に航路のしゅんせつ工事が完了し、平成26年度から航路護岸の補強工事が進められ、平成32年度末に完了する予定。

県事業については、平成28年度から公共埠頭7番背後のコンテナヤード拡張整備が進められ、来年度から供用開始予定。臨港道路四山線については、橋梁2カ所の整備が行われ、今年度に完了する予定。

問 現時点における三池港利用促進に向けたポートセールスの取り組みや現状は。

答 国・県・市等で構成するマイポートみいけ利用促進協議会や三池貿易振興会と連携し、三池港への貨物・船舶の誘致等の利用促進に取り組んでおり、佐賀県や熊本県北部地域の荷主企業への訪問活動を行い、7月には、大手荷主企業や船会社の代理店がある東京・大阪地区にもポートセールスを実施している。

8月には、三池港を利用していない企業を対象としたポートセミナーを開催し、積極的に三池港をPRしている。

